

国内生産

アザミウマ類の天敵製剤

メリトップ Meri-Top

ククメリスカブリダニ剤



ククメリスカブリダニ



アザミウマ類幼虫

捕食!



自社生産工場

アザミウマ類を待ち伏せ防除!

商品詳細

※出荷方法および仕様は予告なく変更する場合があります。

商品名：メリトップ

種類名：ククメリスカブリダニ剤

商品規格：50,000頭/900mLボトル

学名：Amblyseius cucumeris

(農林水産省登録第 20851 号)

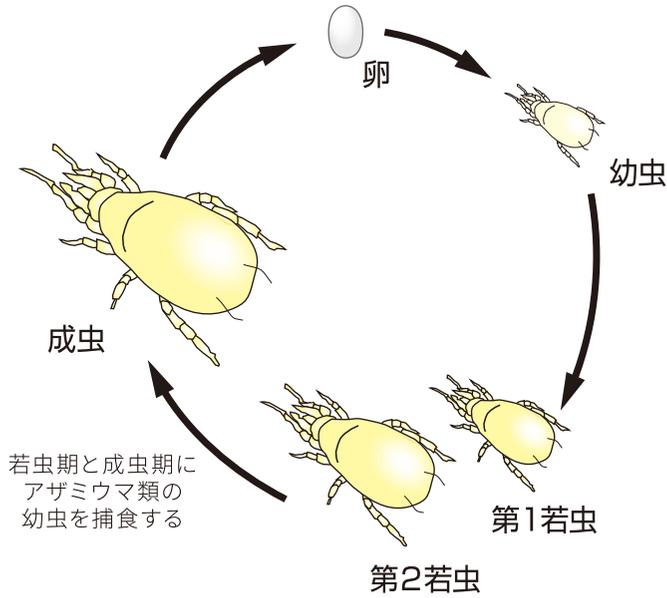


株式会社 アグリ総研
www.agrisect.com

■虫を知る 天敵生物と害虫の生活サイクルを知り

天敵生物ククメリスカブリダニの生態

ククメリスカブリダニのライフサイクル



ククメリスカブリダニ



ククメリスカブリダニがアザミウマ幼虫を捕食

捕



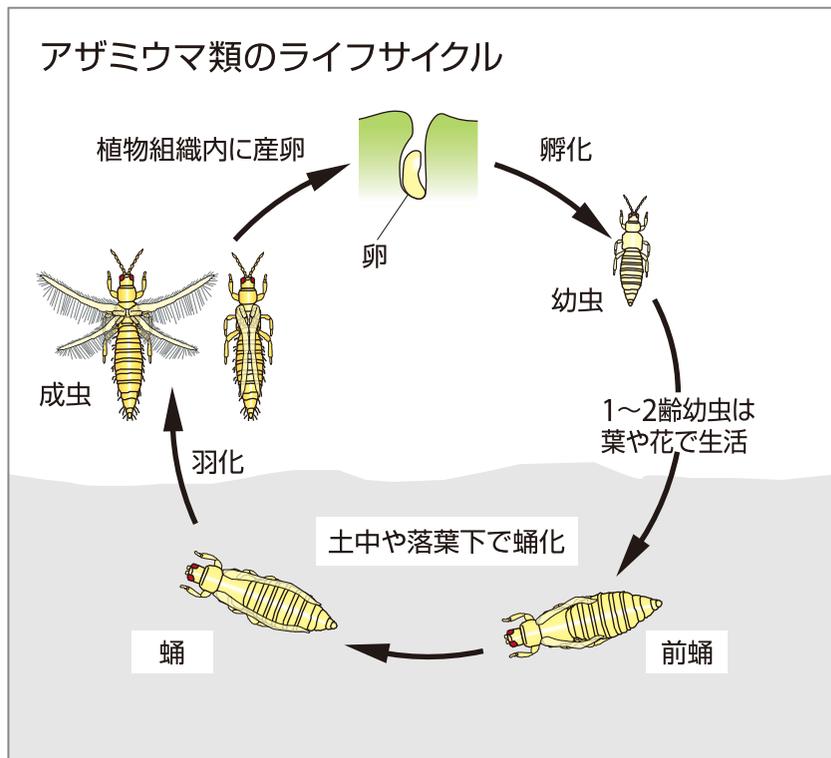
分布	日本、ヨーロッパ、地中海沿岸、北アメリカ、中近東、インド、オーストラリア、ニュージーランドなど
体長	雌成虫 約0.4mm
体色	ベージュ色～ピンク色
活動適温	17～25℃
発育期間(卵～成虫)	約8.7日(25℃環境下)
ライフサイクル	卵 → 幼虫 → 第1若虫 → 第2若虫 → 成虫 ※捕食活動を行うのは、第1・第2若虫および成虫
捕食対象	アザミウマ類幼虫のほか、ダニ類や花粉も摂食する。 アザミウマ類を捕食する場合、1齢幼虫を好む。
成虫の平均捕食数	ミカンキイロアザミウマ幼虫の場合、1日あたり約1.5頭

ましよう。

害虫アザミウマの生態



アザミウマ類の幼虫



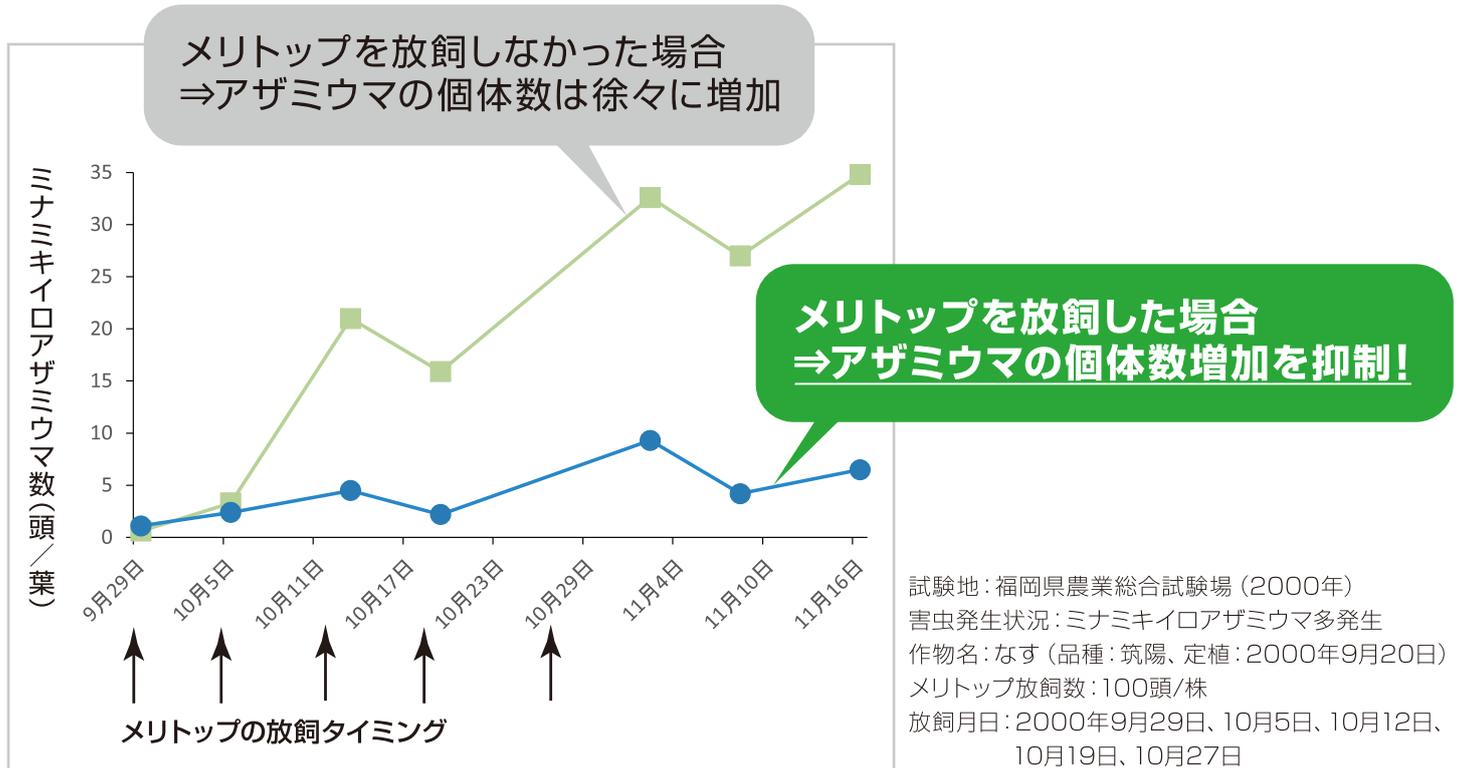
アザミウマによる被害 (葉にかすり状の傷)



アザミウマによる被害 (がく部分の食害)

主な害虫名	ミナミキイロアザミウマ	ミカンキイロアザミウマ
体長	雌成虫 約1.3mm	雌成虫 約1.5mm
体色	橙黄色	淡黄色および褐色
活動適温	25~30℃	20~30℃
発育期間 (卵~成虫)	約14日 (25℃環境下)	約12日 (25℃環境下)
ライフサイクル	卵→1齡幼虫→2齡幼虫→前蛹→蛹→成虫 ※幼虫および成虫が植物を加害する。	
被害	一般的に植物の葉や花に寄生し、吸汁 (食害) する。被害は作物や加害部位によって様々だが、部分的な退色または褐変、かすり症状などが見られる。また、植物ウイルスを媒介する。	

メリトップのアザミウマ類に対する防除効果



メリトップについて

放飼したククメリスカブリダニは、葉裏や花の内部で定着し、アザミウマ類の幼虫を捕食します。また、餌となるアザミウマ類の幼虫がいなくは花粉を餌として生活し、花の内部でアザミウマ類を待ち伏せします。



有効成分の種類：ククメリスカブリダニ

含有量：50,000頭/900mL ボトル

その他の成分：植物片、ケナガコナダニ等

※第1、第2若虫及び成虫を合計50,000頭以上封入しています。

農林水産省登録第20851号

適用表

作物名	適用病害虫名	使用量
野菜類 (施設栽培)	アザミウマ類	100頭/株

第8版 2026.02



メリトップの導入タイミング

※アザミウマが発生している場合は、ククメリスカブリダニに対して影響の少ない農薬を散布し、できるだけアザミウマの密度を下げた後から放飼してください。

⇒本書の **アザミウマ防除でメリトップと併用できる農薬** をご参照ください。

作物の開花後なら、放飼時にアザミウマが発生していなくても
作物の花粉等を食べて生存可能です。

ククメリスカブリダニは高い湿度を好むため、施設内の湿度を高めに保ちましょう。

株あたりのメリトップ導入基準：100頭/株（10aあたり3本/回）



導入前の注意点

●これまで使用した農薬がククメリスカブリダニに影響しないか確認しましょう。

⇒本書の **ククメリスカブリダニに対する農薬の残効期間もしくは影響の程度について** をご参照ください。

メリトップの導入手順



←メリトップの放飼方法を
動画で確認できます。

① 天敵が届いたら

輸送用箱から取り出したボトルを横向きに静置して、ゆっくり常温に戻します。



注意！

メリトップの到着後は、当日に全て放飼し、使い切ってください。
万一放飼が翌日になる場合は、容器を新聞紙に包んで乾燥を防ぎ、冷蔵庫の野菜室で保管してください。

② ボトル内を攪拌する

ボトル内のククメリスカブリダニの偏在を防ぐため、ボトルを横にしてゆっくり20回程度回転させ、密度を均一にしてください。



注意！

ボトルを上下左右に激しく振るなど、手荒に扱くとククメリスカブリダニが圧死してしまうため、注意してください。

③ ボトルの開封方法

ボトルを開封します。キャップを取り外して白い内蓋を取り除きます（右図参照）。



④ 天敵放飼

内容物を施設全体に放飼します。アザミウマが侵入しやすいハウスの出入口、側窓付近や、例年アザミウマの発生が見られる箇所には重点的に放飼します。



軽く一振りでおよそ100頭放飼できます

⑤ 放飼が終わったら

放飼後は、ククメリスカブリダニがボトル内に残っているため、畝の上に静置してください。



Point!

ククメリスカブリダニが良く定着するように、放飼から1週間は葉面散布剤や農薬の使用は避けてください。

⑥ その後の確認方法

ククメリスカブリダニが定着すると、葉裏（葉脈付近：右図参照）や花の周辺で見られるようになります。肉眼でも確認できますが、ルーペがあると観察に便利です。



葉脈付近のククメリスカブリダニ

ククメリスカブリダニに対する農薬の残効期間もしくは影響の程度について

- ・表中の数字は残効日数を表します。天敵の放飼は残効期間（「日数」×24時間）以上の期間を経てから行ってください。
- ・「乾燥後影響ない」と表記されている場合でも、散布後の薬液が乾燥するまでは影響がありますので、天敵の放飼は薬液が乾燥してから行ってください。
- ・本表は日本生物防除協議会、農薬メーカー、試験研究所などの情報に、弊社の知見を加えて作成しました。詳細は各農薬メーカーにお問い合わせください（農薬ラベルをご確認ください）。

【殺虫剤・殺ダニ剤】

農薬名	残効期間もしくは影響の程度
アクタラ顆粒水溶剤	14
アタブロン乳剤	9
アドマイヤー1粒剤	0
アドマイヤー顆粒水和剤/ 水和剤/フロアブル	乾燥後影響ない
アニキ乳剤	3
アフーム乳剤	6
アブロード水和剤	乾燥後影響ない
アルバリン顆粒水溶剤/粒剤	長期間残効する可能性あり
ウララDF	乾燥後影響ない
エコピタ液剤	乾燥後影響ない
カスケード乳剤	乾燥後影響ない
カネマイトフロアブル	乾燥後影響ない
グレーシア乳剤	長期間残効する可能性あり
コテツフロアブル	7
コルト顆粒水和剤	14
コロマイト水和剤	成虫の死亡率高い
コロマイト乳剤	7
サフオイル乳剤	乾燥後影響ない
サンクリスタル乳剤	乾燥後影響ない
サンマイトフロアブル	成虫の死亡率高い
スタークル顆粒水溶剤/粒剤	長期間残効する可能性あり
ダニオーテフロアブル	乾燥後影響ない
ダニコングフロアブル	乾燥後影響ない
チェス顆粒水和剤	乾燥後影響ない

農薬名	残効期間もしくは影響の程度
ディアナSC	成虫の死亡率高い
デミリン水和剤	乾燥後影響ない
トリガード液剤	乾燥後影響ない
トルネードエースDF	7
ニッソラン水和剤	乾燥後影響ない
粘着くん液剤	乾燥後影響ない
ノーモルト乳剤	乾燥後影響ない
バイデートL粒剤	0
バロックフロアブル	10以上
ピラニカEW	成虫の死亡率高い
ファインセーブフロアブル	乾燥後影響ない
フーモン	乾燥後影響ない
プレオフロアブル	乾燥後影響ない
プレバソンフロアブル5	乾燥後影響ない
ポタニガードES	1
マイコタール	乾燥後影響ない
マイトコーネフロアブル	乾燥後影響ない
マッチ乳剤	乾燥後影響ない
マブリック水和剤20	卵・成虫の死亡率高い
ミネクトデュオ粒剤	0
ムシラップ	乾燥後影響ない
モスピラン顆粒水溶剤	乾燥後影響ない
モベントフロアブル	長期間残効する可能性あり

・表中の残効期間や影響の程度は目安です。農薬散布時の環境（展着剤、温湿度、天候、紫外線量、換気条件など）によって変化するのでご注意ください。



弊社HPからも
ご確認ください。

【殺菌剤】

農薬名	残効期間もしくは影響の程度
イオウフロアブル	成虫に影響ある
オーソサイド水和剤80	乾燥後影響ない
カリグリーン	乾燥後影響ない
サブロール乳剤	7
ジマンダイセン水和剤	乾燥後影響ない
スミレックス水和剤	乾燥後影響ない
ダコニール1000	乾燥後影響ない
トップジンM水和剤	21
トリフミン水和剤	乾燥後影響ない

農薬名	残効期間もしくは影響の程度
パルミノ	乾燥後影響ない
フセキワイドフロアブル	乾燥後影響ない
フルピカフロアブル	乾燥後影響ない
ベルコート水和剤	乾燥後影響ない
ベンレート水和剤	21
モレスタン水和剤	乾燥後影響ない
ランマンフロアブル	乾燥後影響ない
ロブラール水和剤	乾燥後影響ない

アザミウマ防除でメリトップと併用できる農薬

※メリトップの導入前後に散布してもククメリスカブリダニに対する影響の少ない農薬を抜粋しています。

農薬名	残効期間もしくは影響の程度
アドマイヤー1粒剤	0
アドマイヤー顆粒水和剤/ 水和剤/フロアブル	乾燥後影響ない
ウララDF	乾燥後影響ない
カスケード乳剤	乾燥後影響ない
デミリン水和剤	乾燥後影響ない
バイデートL粒剤	0

農薬名	残効期間もしくは影響の程度
ファインセーブフロアブル	乾燥後影響ない
プレオフロアブル	乾燥後影響ない
マッチ乳剤	乾燥後影響ない
ミネクトデュオ粒剤	0
モスピラン顆粒水溶剤	乾燥後影響ない